

令和5年4月7日  
独立行政法人福祉医療機構  
経営サポートセンター長 川森 大輔  
経営サポートセンター  
リサーチグループリーダー 松本 庄平  
担当 平内・佐藤 (電話) 03-3438-9932  
(FAX) 03-3438-0371

## 病院経営動向調査(2023年3月)の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎(3月、6月、9月、12月)に実施しています。今回は2023年3月に実施した本調査の結果についてご報告します。詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

### 1. 調査の概要

- 対象：病院(337施設)を運営する法人260法人(うち、医療法人215法人)\*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、新型コロナウイルス感染症の影響および原油価格や物価高騰の影響
- 回答数：病院：250 医療法人：158 有効回答数：病院：250 医療法人：158
- 有効回答率：病院：74.2% 医療法人：73.5%
- 実施期間：2023年3月1日(水)～2023年3月22日(水)
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI(景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出)に加工・集計して公表

### 2. 調査の結果

#### 【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が $\Delta 12$ (前回調査より5%ポイント上昇)、療養型病院が $\Delta 11$ (同13%ポイント低下)、精神科病院は $\Delta 36$ (同3%ポイント低下)となった。
- 医業収支(黒字・赤字)のDIは、一般病院が $\Delta 5$ (前回調査より3%ポイント上昇)、療養型病院が21(同22%ポイント低下)、精神科病院は0(同5%ポイント低下)となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が $\Delta 3$ (前回調査より6%ポイント低下)、療養型病院が $\Delta 2$ (同5%ポイント低下)、精神科病院は $\Delta 18$ (同1%ポイント上昇)となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が $\Delta 47$ (前回調査より1%ポイント低下)、療養型病院が $\Delta 44$ (同3%ポイント低下)、精神科病院は $\Delta 52$ (ほぼ同水準)となった。
- 経営上の課題として「人件費以外の経費の増加」を挙げた病院は、一般病院が74.5%(前回調査より9.7ポイント上昇)、療養型病院が72.1%(同15.0ポイント上昇)、精神科病院が75.0%(同13.1ポイント上昇)となった。

#### 【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは $\Delta 17$ (前回調査より5%ポイント上昇)、事業収支(黒字・赤字)のDIは7(同6%ポイント低下)、資金繰りDIは $\Delta 3$ (同3%ポイント低下)、従業員数のDIは $\Delta 47$ (同1%ポイント低下)となった。

#### 【その他】

- 2022年度の病院全体の医業収益の見込みは、前年度比5%以上増収が23.0%、5%以上減収が32.1%となった。また、医業利益の見込みは、前年度比5%以上増益が19.3%、5%以上減益が53.1%となった。
- 原油価格や物価高騰による影響を受けていると回答した先のうち、前年度同期比で水道光熱費が増加したのは97.1%となった。変化幅の内訳をみると、水道光熱費が20%以上増加したと回答した先が75.6%を占めた。
- 物価高騰に対応するための補助金・支援金を受けている先は54.0%であり、受ける予定である先と合わせて92.4%が受給すると回答した。また、受けている先の1床当たりの補助金額は26,712円であった。